

申14号 2014政策フォーラムの提言実現に向けた申し入れ団体交渉

第3回

第9項 応募型研修やセミナー等の参加について、本人の希望・意見を尊重すること。
また、人事評価は本来業務での評価とすること。

【確認事項】

- 応募型研修は本人の応募が前提で、管理者は丁寧にコミュニケーションをとり懇話を行う。
- 単純に応募型研修に行ったから良く、行かなかったから悪いと人事評価するものではない。
- 提言を受け止めて、今後の応募型研修・セミナーに生かしていく。

実態を再確認!

第10項 現場の実態に合わせた作業ダイヤを作成すること。また、遺失物集約駅に忘れ物案内所を設置すること。

【確認事項】

- 川越駅の遺失物対応については、窓口の設置を含めて支社で具体的に検討をしている。
- 作業ダイヤは、これまで通り社員の意見を反映し、駅長が定めるもの。

要求実現に向け大きく前進!

第11項 遺失物取扱業務と車椅子案内業務は業務内容が異なるため一括委託は行わないこと。

会社

委託実施の後、トレースを行い必要があれば、必要な見直しを行う。

組合

委託できると判断した側と現場を担っている側の視点の違いがある! 視点を明確にしトレースを!!

会社

現場社員の声、グループ会社の声を聞いて、必要な見直しがあれば行う。

現場実態を具体的に検証し、要求をつくりだそう!

確認!

第12項 社会人採用者(駅配属)のライフサイクルを確立し、輸送職のフコを育成すること。
また、地元から採用をおこない地域と線区に根ざした人材とすること。

【確認事項】

- 輸送職は社会人のみとは考えていないが、社会人採用者が主力となると考えている。
- 輸送安定性全体を見ると、運転士・車掌経験者も含めて輸送職の技術を継承する。
- 輸送職の育成の課題認識は持っており、これまで以上に育成に力をいれなければならない。

社会人採用者の重要性を確認!

第13項 管理駅は委託駅で異常が発生した場合、迅速に対応できる体制を確立すること。
また、業務委託会社で働く組合員に対する教育・訓練は、本体と同等に行うこと。

【管理駅の役割】

- 一定エリアの駅を管理している。
- 委託駅を含めて、安全レベルの向上、サービスの向上を図る。

【業務委託会社の教育】

- 教育内容を契約に定め、管理駅が教育内容を確認する。
- 教育が不十分な箇所に関しては、各エリアの特情を考慮に入れ訓練を行う。

安全最優先の

駅の管理体制を
実現しよう!

全13項目終了! 提言実現に向けて、労使で努力していくことを確認!

職場討議を強化し、提言を実現しよう!!